

## 第3学年〇組技術・家庭科学習指導案

指導者 筑西市立協和中学校 教諭 木村 和樹

思考力・判断力・表現力を育み、実践的な態度を育てるための技術・家庭科の授業の在り方  
～情報モラルの育成における言語活動の工夫を通して～

### 1 題材名 情報モラル

### 2 題材目標

- ・よりよい社会を築くために、情報に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。
- ・情報通信ネットワークを利用する上で安全面やマナーなどを考え、情報モラルなどを意識してコンピュータを活用する方法を考えることができる。
- ・情報通信ネットワークを利用する上で安全面やマナーなどの情報モラルを意識してコンピュータを活用することができる。
- ・コンピュータの基本的な情報処理の仕組みと情報通信ネットワークにおける安全な仕組みについて知識を身に付け、社会や環境とのかかわりについて理解している。

### 3 指導にあたって

本題材は話し合い活動を通して、情報モラルの重要性と必要性について考える活動を行うことにより、それらを実践しようとする態度を育成することを学習のねらいとしている。本題材では、情報モラルの中でも生徒の興味関心が高い、携帯電話に関する情報リテラシーについて取り扱う。情報通信白書によると小学生高学年で3割、中学生になると6割、高校生になると9割以上が携帯電話を所持、使用している。しかし、安易に使用できるということでそれが原因でトラブルになり、いじめや喧嘩、殺人事件に発展するケースもある。フィルタリングという機能があり、それを利用して使用を制限することもできるが、利用しないというケースが多い。

そこで、これからの情報社会を生き抜くうえで情報モラルに関する理解を深め、実践する態度を育成する必要があると考えた。特に、生徒の利用率の高いメールやプロフなどの携帯電話でのトラブルについてのビデオを見て、思ったことや感じたことを話し合う活動を行い、携帯電話を利用して情報を発信するということは責任が発生することに気付かせたい。さらに、グループの考えを発表しあうことで、自分だけでは気付かなかった情報リテラシーにも気づかせたい。また、ワークシートに自分の考えを書かせるなど言語活動を充実させることで情報モラルについての生徒の考えの変容を確認し、情報モラルに対する生徒の意欲や理解力の評価につなげたいと考えた。

### 4 生徒の実態

〇年生を対象としたアンケートを実施したところ下の表1のような結果になった

【実態調査】 平成22年〇月〇日実施 〇年146名

(1) 携帯電話を所持していますか。

はい 86人, いいえ 60人

(2) 携帯電話を高校生になったら使用しますか(使用し続けますか。)

はい 144人, いいえ 0人, わからない 2人

(3) 携帯電話で主に利用すること(したいこと)はどんなことですか。

メール136人, プロフ 89人, ネット45人, その他 56人

59%の生徒が携帯電話を所持しており、98%が将来的に携帯電話を所持し使用したいと考えている。また、家庭でパソコンを利用したインターネットの利用度についても調査した結果、3割程度が日常的にインターネットでネットサーフィンをしていると回答した。

そこで、本研究では現在の生徒の利用頻度やこれから利用する割合を考え、携帯電話を介したインターネットの利用についての情報モラルの学習に焦点を絞って研究を進めることとした。

## 5 学習計画（4時間）

時	学 習 活 動	評価の観点				評 価 規 準
		関	工	技	知	
1	ネットワークの仕組みを知ろう	○			◎	情報をコンピュータで利用するために必要なデジタル化の方法についての知識を身に付けている。
2	電子メールを活用しよう			○	◎	インターネットなどの情報通信ネットワークの構成と、安全に情報を利用するための基本的な知識を身に付けている。
3	著作権について知ろう		◎		○	著作権について利用場面に応じて適正に活動する方法を考えることができる。
④	情報モラルの重要性を知ろう	◎	○			情報に関する技術の課題を進んで見つけ、情報社会において適正に評価し、情報モラルを日常的に実践しようとしている。

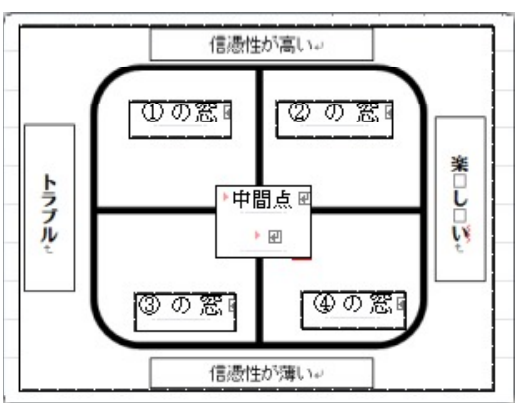
## 6 本時の学習

### (1) 目標

情報通信ネットワークの光と影について理解を深め、情報モラルを実践しようとする態度を育成する。

### (2) 資料・準備物：パソコン プロジェクター ワークシート スピーカ

### (3) 展開

時間	学 習 活 動 及 び 内 容	指導の視点（◎は評価）
5	<p>1 情報通信ネットワークの光と影について自分の考えをグラフ化する。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒がネットワークを活用する際に最も手軽に使用する携帯電話を主に取り上げるよう配慮する。</li> <li>携帯電話に対する評価をし、お互いの考えを知ることによって携帯電話に関する関心を高めるようにする。</li> <li>インターネットの利用について、「信憑性」と「トラブル・楽しい」という二つの方向の軸から考えて、自分の考えに近い場所の窓を「①～④」から選択させるようにする。選択できない場合は、「中間点」が選べることを伝える。</li> <li>拡大図を掲示し、友だちがそれぞれの窓をどれくらい選択したか、状況がわかるようにし、課題の共有化を図る</li> </ul> <p>情報モラルの重要性を知り、実践する力をつけよう。</p>
10	<p>2 携帯メールの使い方を考えよう。</p> <p>(1) 読みやすいメールを書く。</p> <p>(2) あいまいな言葉は使わない。</p> <p>(3) 受け取る人の気持ちになって読み直す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3つのスライドを見て、それぞれの問題点について自分の考えを書くことで、メールをする際には基本的なマナーがあることに気付かせるようにする。</li> <li>ワークシートに自分の考えと友達のことを記入し自分の考えと周りの考えを比べるようにする。</li> </ul>
	<p>3 コミュニティサイトについて考える。</p> <p>(1) ビデオを見る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネット社会のルールとは</li> <li>コミュニティサイトの危険性とは</li> </ul> <p>(2) 自分の考えを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティサイトの危険なところ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオを見て話し合いをすることで、プロフの危険性やネット社会にはルールがあることに気付かせたい。</li> <li>ビデオを見た後の携帯電話に関する再評価をさせることで、携帯電話は利用を間違えると危険性があること気付かせるようにする。</li> </ul>

25	<p>ろ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルール 3 カ条</li> </ul> <p>(3) 4 人組になり，ルール 3 カ条を作成し発表する。</p> <p>例・発言に気を付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報を書かない。</li> <li>・相手の言葉をすべて信じない。</li> <li>・メル友に会わない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで話し合ったことを発表し合うことで，携帯電話の利用に関して様々な考えがあることに気付かせるようにする。</li> <li>・考えがでない生徒や意見をまとめられないグループには机間指導をして助言する。</li> <li>・いくつかのグループに発表させ，意見の共有化を図るようにする。</li> </ul>
8	<p>4 それ以外のトラブルについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チェーンメール</li> <li>・ワンクリック詐欺</li> <li>・依存症</li> </ul> <p>5 携帯ルール 5 ヶ条を作る。</p> <p>6 携帯電話の光と影についてもう一度自分の考えをグラフ化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実例を用意して，考えさせることで，情報モラルを実践しようとする態度を養えるようにする。</li> </ul> <p>㊦ 携帯電話を利用する際には様々なトラブルに注意して利用しようとしているか。 (工夫 ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオを見たり，話合いをしたりして自分の考えがどのように変わったのかを改めて考えさせるようにする。</li> </ul>
5	<p>7 自己評価をする。</p> <p>自己評価カードに今日の授業の感想を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価にまとめ，今日の学習のねらいを達成できたか確認させる。</li> </ul>